



利根中央病院だより

第49号
2018年 秋号

きらめき



発行責任者 利根中央病院 院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：http://www.tonehoken.or.jp/

整形外科の診療体制について



整形外科部長 細川 高史

当院は日本整形外科学会認定施設であり、現在5名の医師で診療を行っています。腰痛、膝痛といった日常的な疾患から、外傷、リウマチ、軟部腫瘍、感染等幅広く対応いたします。

また救急患者に関しても吾妻、渋川、みなかみと広範囲で受け入れております。高齢者の脊椎圧迫骨折、大腿骨近位部骨折をはじめ、交通外傷、また休祝日には観光客や登山客、冬にはスキースノーボード外傷等、県外者も多く受診し、入院、手術、リハビリテーションまで一貫して対応できる体制となっております。

現在当院には人工関節や脊椎の手術を行う医師は常勤ではおりませんが、非常勤医師が群馬大学および群馬大学関連病院から来ております。必要時には紹介し、手術を受けることも可能です。



【日本手外科学会認定施設】

2017年度より日本手外科学会認定施設に認定され、上肢、とくに手部の診療に力を入れています。ばね指、手根管症候群、変形性関節症ほか、骨折、腱断裂、神経血管損傷、切断など対応可能です。その他、経年的に指が曲がってしまいうデュピュイトラン拘縮は、以前は手術しか治療法がなかったの



デュピュイトラン拘縮（日本整形外科学会HPより引用）

ですが、注射での治療が可能となりましたのでぜひご紹介ください。他に血液透析のための内シャントの作成もしています。

【完全予約制】

皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、10月から外来完全予約制とさせていただきます。予約外の外来患者さんが多く、午後からの手術開始に支障をきたすことが多くあったためです。

急患および紹介状をお持ちの方は当日でも受診可能ですが、まずはお電話にてご連絡下さい。よろしく願いたします。

褥瘡対策チームの取り組みについて

皮膚・排泄ケア認定看護師 松本 厚子



2017年度から皮膚科医師が非常勤となり、入院中の褥瘡管理は外科医師と皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に行ってきました。今年の4月より皮膚科医師が褥瘡回診に参加できる様になり、回診時に治療など専門的な指導を直接受けることができチームのスキルアップへと繋がっています。また多職種連携では薬剤師が新たに加わり質の向上が図られました。

毎月の定例会議では、院内褥瘡発生患者について褥瘡発生原因や予防対策などの検討、全褥瘡患者を対象に症例検討方式で勉強会を行っています。褥瘡

予防対策では危険因子の評価を行うことが義務づけられており、2018年度4月の診療報酬改定では「褥瘡危険因子」の評価項目に皮膚の脆弱性が追加され「スキンケア」が明示されました。

また褥瘡対策委員会では、高齢者の弱い皮膚に対して予防的ケアを行うことが推奨されていることから、スキンケアについて学習会を行いました。予防的ケアや発症後の創傷処置について学習し、発症後からの対応や体制を整備し病院全体で取り組みを開始しました。

患者様に向けた取り組みでは、入院のしおりにス

キンケアについての説明とスキンケア用品の紹介をし、入院中に予防的ケアが必要とした場合、すぐに使用できるような体制も整えています。また、退院後も予防ケアが継続できる様に院内の売店でもスキンケア用品が購入できる様にしました。

今後の取り組みとして切れ目のないケア・治療ができるように関係機関との連携を図れるような体制作りをしていきたいと思ひます。



褥瘡回診の様子



地域公開講演会

骨粗しょう症の検査(DXA法)について



放射線室 技師長 東 守

「いつのまにか骨折」聞いたことがあるでしょうか？骨粗しょう症が進み知らない間に脊椎（背骨）が骨折してしまう病気です。骨密度検査は、骨の強さや代謝性骨疾患の診断に役立つ検査で、若い人の骨密度の平均値と比べて自分の骨密度が何%であるかを数値化することで骨量の減少を早期に発見し、骨粗しょう症の適切な予防や治療を行うことが可能になります。

《骨密度測定の標準》

利根中央病院では、GE社製のLUNARを導入して骨密度検査を測定しています。骨密度を検査する方法はいくつかありますが、当院では微量なX線で測定できるDXA法（デキサ法）にて骨密度検査をおこなっています。DXA法は他の方法と比べ測定精度が高いのが特徴です。他の方法としては、かかとの骨に超音波をあてて測定する超音波法があり、X線を使用していないため骨粗しょう症の検診に用いられます。

脊椎は骨量が低下すると明らかな転倒などがなくても徐々に圧迫骨折がおこりやすくなります。腰椎は他の骨と比べて骨の変化を捉えやすいため、腰椎のDXA法が骨密度測定の標準となっています。また、大腿骨頸部は転倒で骨折しやすい部位なので

当院では、腰椎と大腿骨頸部の両方の骨密度測定を行っています。

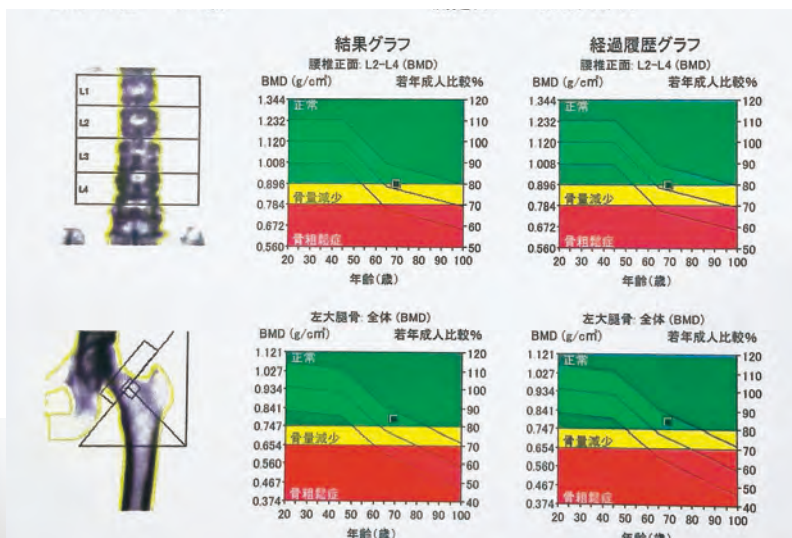
《定期的に骨密度測定を》

骨粗しょう症は、骨密度の低下と骨質の劣化、その両方が影響しあって骨折リスクが高まる病気といえます。骨密度検査は、骨の健康を知る上で重要な手がかりですので、特に女性は症状が無くても、40歳以上になったら定期的に骨密度を測ることをお勧めします。

《検査を希望される場合》

ご紹介の場合は当院地域連携室より予約を承っております。

一般希望者の方は当院の整形外科外来または産婦人科外来に予約の上、受診時にご相談ください。



第6回きらめき祭開催



8月26日の猛暑の中、約2000人の方々にお越しいただきました。

恒例の糖尿病教室や歯科健康相談、各科医師紹介のポスター掲示、和太鼓演奏、サイエンスショー、ヒーローショー、消防車展示などに加えて、新たな試みとして出演団体の募集を行い、9団体から出演協力を頂きました。

新病院へ移転して3周年。多くの方々への感謝の気持ちを伝え、連携も広がった有意義なイベントとなりました。

臨床研修の第三者評価で認定病院に

当院の臨床研修に対して、書類調査、院内ラウンド、研修医・指導医へのインタビューを通して客観評価を行っていただきました。

サーベイヤからは、『高齢化が進む地域の実態と、限られた医療資源。そのなかで貴院が担う役割に則した形で、総合診療科を中心に素晴らしい研修が提供されている』との高評価をいただきました。



きらめき トピックス

医療者のためのトータルアンチエイジング講座開催



トータルアンチエイジング講座を職員対象に開催しました。3名の専門家（スキンケア・美と健康、食事・運動、姿勢・歩き方）による実践を交えた講義は自分を見つめ直す機会を与えてくれました。『キレイは生きる力になる』『自分を大切にすることは患者を大切にすること』…医療者としてハッとさせられる話が満載でした。本講座は皮膚科永井先生（Office風の道代表）の企画により開催されました。地域に向けた各種講座も予定されています。

※詳しくは<https://kazeno-michi.com>へ

関原副院長

「総務大臣表彰」を受賞

「救急の日」9月10日、当院副院長の関原正夫医師が平成30年度救急功労者表彰として「総務大臣表彰」を受賞しました。

救急功労者表彰とは、日頃から救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人・団体を表彰するもので、利根沼田地域では関原先生が初めてで、群馬県内の医師としては4人目の受賞とのこと。

消防機関との連携では、消防と医療が合同で行う死亡症例の検討会を、15年以上に渡り月1回・計180回以上継続開催してきた実績やメディカルコントロール協議会等で中心的な役割を果たすなど、沼田地域および群馬県の救急業務の高度化に大きく貢献したこと等が評価されました。

関原先生は「この受賞は、消防との連携や病院全体の協力のおかげであり、医療圏全体で受賞したと思っている。これからの励みになる」と話しました。

